



環境学の

授業拝見!

理学、工学、人文社会科学、異なる専門領域の学生がともに学ぶ環境学研究科ならではの授業です。



谷川先生

【今回の授業】

持続可能性と環境学

谷川 寛樹教授（都市環境学専攻・国際環境人材育成プログラム・プログラムリーダー）

2008年度から実施されている「国際環境人材育成プログラム(NUGELP)」。留学生と、環境学研究科、工学研究科社会基盤専攻の博士課程の日本人学生が、2年間ともに学び、専門分野にとどまらず環境についての広い知識を身につける特色ある教育プログラムです。授業はすべて英語。学生は、ベトナム、カンボジア、フィリピンなど東南アジアからアフガニスタンやイラン、アフリカ諸国と、国際色豊かです。

今日の授業はこのプログラムの一環で、環境学研究科の多様な教授陣がオムニバス形式で担当。地球温暖化から自然災害、環境政策、低炭素社会と、研究のバックグラウンドから最先端まで講義します。「留学生は、専門分野だけを勉強してくるので、ほかの分野も学べるのが新鮮なようです。驚くのは日本人の学生。留学生と2年間学ぶなかで、英語もコミュニケーション力もかなり成長します。伸びしろは大きい」と谷川先生。ともに学んだ学生たちが、それぞれの現場で直面する環境問題の解決に貢献する日も近いかもしれません。



IVY KRISTINE SABUNGEY TOQUEROさん（環境学研究科）

私の研究分野は交通工学ですが、この授業では環境について幅広く学べます。マニラは交通渋滞がひどい都市で、帰国したら交通の専門家として交通問題の解決に貢献したいと思っていますが、学んだ知識を生かし、環境への影響という視点も考えていけたらと思います。

神野 琢真さん（工学研究科）
Kamino Takuma

研究室の留学生の先輩がこのプログラムに入っていて、誘いを受けました。いろいろな国の人と話せるし、いい成長の機会になるからと。僕は工学研究科ですが、環境に関わる研究をしています。ここでは、いつもの講義では聞けないような環境についての知識が得られて、すごく勉強になっています。

